

eAct

アクト ナウ

NOW!

逆風をチャンスに。 仕出し料理屋から 新商品登場!

創業48年。これまで冠婚葬祭や地域行事、イベント等で人々の集いの場を支えてきた「仕出し味しん」。コロナ禍で会食が制限され、従来のように料理を提供できない日々が続く現状を打開するべく新たな取り組みを行っている。

“今やれることからやる”

新型コロナの流行から約1年半。会食や各種行事は激減し、その状況は今なお続く。株式会社味しん2代目の佐藤一美さんは、経営改善を目指し今年3月にセンターの専門家派遣制度を利用し、専門家からの助言をきっかけに新商品開発に踏み切った。SNSなどで情報を収集し、華やかなビジュアルで賑わいを見せるフルーツサンドに着目。クリームや果物の切り方、包装など試作を重ね、4月末から西武秋田店地下の「味いち」にて販売を開始している。7月からは、ヒレカツサンドや女性に好評のランチボックスの新メニュー、ライスバーガーなど新たな商品が続々と登場。国産牛使用のライスバーガーは、生姜の甘露煮に刻んだいぶりがっこを混ぜ秋田らしさを加えた。新たな秋田米「サキホコレ」にも注目しており、秋田の材料を中心としたライスバーガーの商品化も検討しているという。

「低価格のお弁当から冠婚葬祭の御膳まで、和洋折衷の料理を提供してきました。どんな料理でも柔軟に対応できることが我々の強みです」。



時勢を捉え売れる商品を

旬で新鮮な果物にこだわるフルーツサンドは、SNSで果物の品種や産地などの情報をこまめに発信。投稿を見て来店する客も多く、毎日ほぼ完売状態だという。開発にあたり、創業以来初めてオリジナルキャラクター“AJくんマーク”も作成した。

「フルーツサンドは、事務の女性社員がやってみたいと賛同してくれて、協力してくれています。キャラクター作成は娘からのアドバイスで、商品開発には若い感性や女性の視点が必要だと実感しています」と佐藤さんは語る。

逆風の中、立ち止まらずに歩みを進めてきた味しん。コロナ禍で急増した「テイクアウト」は、実は仕出し屋として以前から続けてきた得意分野だ。従来の御膳料理を、折詰弁当にして販売するなど、時代にマッチした商品を展開し、今後はECサイトでの販売も視野に入れている。



「作ることはできても、売り続けることは難しい。せっかく新しいことに挑戦できたので、オリジナリティを出しながら、売れる商品を追求していきたいですね」。

株式会社味しん

〒010-0951 秋田県秋田市山王2-7-19
ロイヤル山王1F
TEL.018-862-4338 FAX.018-862-4614
<https://ajishin.ocnk.net/>

●会社概要

1973年創業。秋田市内を中心に冠婚葬祭、各種行事イベント等に利用する料理を販売。1998年より西武秋田店にて「惣菜専門店味いち」を開業。季節商品「きりたんぼ鍋セット」「秋田牛すき焼き鍋セット」(佐藤義助商店稲庭即席めん入)なども好評販売中。

代表取締役社長

佐藤 一美

さとう かずみ

